# 千葉市 子どもの生活状況に関する 実態調査 (アンケート調査) 調査結果報告書 【概要版】

令和3年3月 千 葉 市

## 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
7	本調査における生活困窮世帯の定義	2
Ι	調査結果のまとめ	3
1	子どもの学習	3
	(1) 学校での学習	3
	(2) 学校外での学習	5
	(3) 進路、将来展望	13
2	子どもの生活状況	23
	(1) 生活習慣	23
	(2) 保護者の子との関係	27
3	家庭の状況	31
	(1) 家計の状況	31
	(2) 保護者の学歴	36
	(3) 保護者の雇用形態	38
4	支援制度	40

## I 調査の概要

#### 1 調査の目的

より効果的に取組みを行い、子育てや教育に関する施策を総合的に推進する計画を策定するため、 子どものいる家庭に、生活状況や子どもの様子、学校生活や将来について、直接、考えを伺うアン ケート調査を実施するもの

## 2 調査対象

(1) 千葉市在住の小学 5 · 6 年生、中学 2 · 3 年生の子どものいる以下の世帯の保護者と子ども (区分ごとに無作為抽出)

① 一般世帯 (3,000世帯)

② ひとり親世帯(※) (950世帯)

③ 生活保護世帯 (350世帯)

④ 就学援助世帯 (700世帯) 計 5,000世帯

(※) 児童扶養手当受給世帯

(2) 千葉市が措置した小学5・6年生、中学2・3年生の以下の子ども(悉皆調査)

児童養護施設、ファミリーホーム及び里親家庭の子ども(以下「児童養護施設等」と記載)

計 41人

## 3 調査期間

2 (1) の世帯 : 令和2年10月22日から令和2年11月12日

2 (2) の子ども: 令和2年11月18日から令和2年12月7日

#### 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

区分	配布数	有効回答数	有効回答率	有効回答数	有効回答率
(本方)	配布数	(子ども)	(子ども)	(保護者)	(保護者)
一般世帯	3,000 通	1,182 通	39.4%	1,281 通	42.7%
ひとり親世帯	950 通	283 通	29.8%	305 通	32.1%
生活保護世帯	350 通	80 通	22.9%	96 通	27.4%
就学援助世帯	700 通	228 通	32.6%	246 通	35.1%
児童養護施設等	41 通	37 通	90.2%		
計	5,041 通	1,810 通	35.9%	1,928 通	39.4%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数 (N)を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計 (全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組 み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成する ことにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを で網 かけをしています。(無回答を除く)

## 7 本調査における生活困窮世帯の定義

#### (1) 相対的貧困世帯の定義

等価可処分所得(世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得)の中央値の半分を相対的貧困水準("貧困線")とする国民生活基礎調査の定義に基づき、世帯収入が "貧困線"以下の世帯を相対的貧困世帯と定義します。

#### (2) 本調査分析における生活困窮世帯の定義

本調査においては、世帯年収についての質問(保護者間24)の回答より"貧困線"を算出し(本調査では145.345万円)、"貧困線"以下の世帯年収の世帯を「生活困窮世帯」と定義しています。

#### (2-1) 貧困線の算出

本調査においては世帯の所得額については、回答者の負担感等を考慮し、手取り収入について選択肢で回答を求めました。そのため、国の貧困線の算出方法で用いる「等価可処分所得」の中央値には、選択肢の上限値と下限値の平均値を世帯人員の平方根で割って調整した値を当てはめています。

・(例) 世帯所得が「500~550 万円」で世帯人員が 5 人の場合、世帯所得を 525 万円として算出します。

(当該世帯の"等価可処分所得") =  $(525 万円) \div (\sqrt{5}) \Rightarrow (234.8 万円)$ 

なお、手取り収入、世帯人員の設問に対し、回答がなかった場合は、本調査で算出した結果には反映していません。

## Ⅱ 調査結果のまとめ

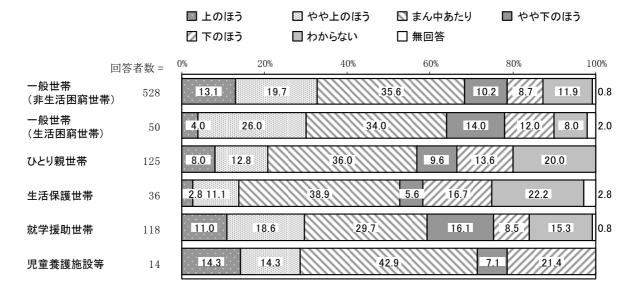
#### 1 子どもの学習

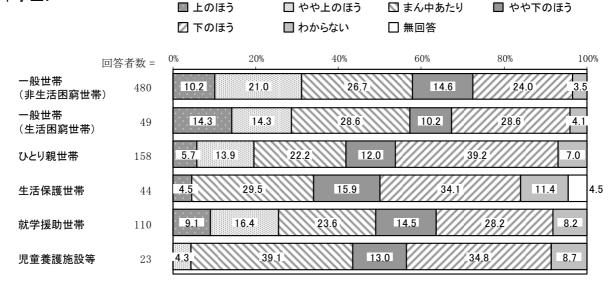
## (1) 学校での学習

- ○クラスの中での学習成績について、小学生では、他に比べ、一般世帯(非生活困窮世帯)で「下のほう」と「やや下のほう」を合わせた割合が低く、ひとり親世帯、生活保護世帯、就学援助世帯で「わからない」の割合が高くなっています。中学生では、他に比べ、ひとり親世帯、生活保護世帯、児童養護施設等で「下のほう」と「やや下のほう」を合わせた割合が高くなっています。
- ○授業の理解度について、小学生では、生活保護世帯で「いつもわかる」と「だいたいわかる」を 合わせた割合が低く、「教科によってはわからないことがある」の割合が高くなっています。中 学生では、児童養護施設等で「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合が低く、「教 科によってはわからないことがある」の割合が高くなっています。

#### (子ども票 問5 学習成績)

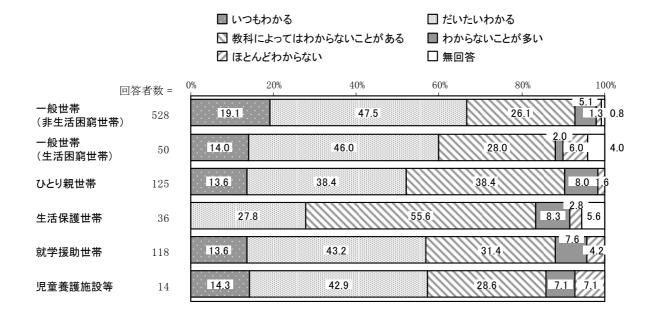
#### <小学生>

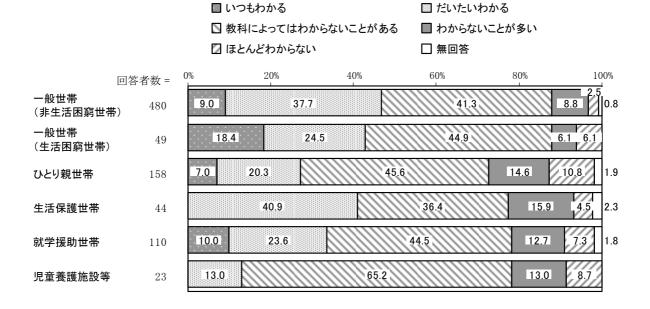




#### (子ども票 問6 授業の理解度)

#### <小学生>





#### (2) 学校外での学習

- 〇学習環境について、小学生では、他に比べ、一般世帯(非生活困窮世帯)、一般世帯(生活困窮世帯)、生活保護世帯で「自分で勉強する」の割合が、児童養護施設等で「家の人に教えてもらう」の割合が高くなっています。中学生では、他に比べ、一般世帯(非生活困窮世帯)で「自分で勉強する」の割合が高くなっています。
- 〇学習習慣について、小学生、中学生ともに、学校がある日に比べ学校がない日で「まったくしない」の割合が高くなっています。特に、小学生では、児童養護施設等で、中学生では、生活保護 世帯で「まったくしない」の割合が高くなっています。
- ○塾や習い事で通わせたいのに通わせていないものがあるかについて、小学生保護者、中学生保 護者ともに、他に比べ、一般世帯(非生活困窮世帯)で「ない」の割合が高くなっています。
- 〇塾等に通わせられない理由について、小学生保護者、中学生保護者ともに、他に比べ、一般世帯 (非生活困窮世帯)で「月謝や授業料が高い」の割合が低くなっています。
- 〇塾代等の費用について、塾・通信教育等、習い事(ピアノ・習字・水泳など)ともに、小学生保護者、中学生保護者ともに、他に比べ、生活保護世帯で「O円」の割合が高くなっています。

### (子ども票 問3 学習環境)

## <小学生>

単位:%

区分	回答者数(件)	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	無料の勉強会に参加する地域の人などが行う	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	勉強はしない学校の授業以外で	無回答
一般世帯 (非生活困窮世帯)	528	62. 1	38.8	1. 9	1. 1	0.8	43. 4	14. 0	8. 3	6. 1	1. 3
一般世帯 (生活困窮世帯)	50	62. 0	18. 0	_	2. 0	_	30. 0	12. 0	6. 0	12. 0	2. 0
ひとり親世帯	125	56.8	34. 4	2.4	-		25. 6	13.6	8.0	10. 4	1.6
生活保護世帯	36	63. 9	13. 9	_	_	_	52.8	8.3	8.3	13. 9	0.0
就学援助世帯	118	56.8	25. 4	0.8	1.7	0.8	44. 1	13.6	14. 4	6.8	1. 7
児童養護施設等	14	57. 1	7. 1	7. 1	21. 4	_	71. 4	28.6	7. 1	0.0	0.0

#### <中学生>

単位:%

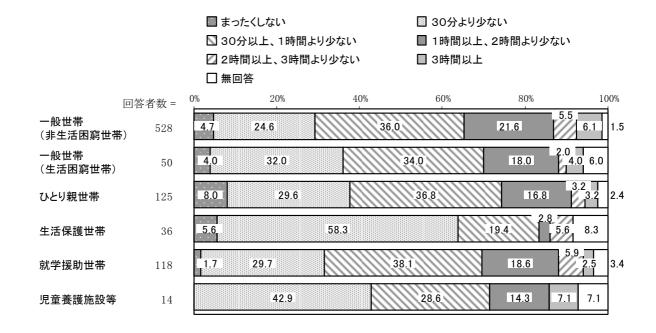
区分	回答者数(件)	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	無料の勉強会に参加する地域の人などが行う	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	勉強はしない学校の授業以外で	無回答
一般世帯 (非生活困窮世帯)	480	78. 1	62. 3	4. 0	2. 9	0. 2	21. 0	22. 1	1. 7	4. 0	0.2
一般世帯 (生活困窮世帯)	49	63. 3	53. 1	4. 1		6. 1	14. 3	16. 3	6. 1	8. 2	2. 0
ひとり親世帯	158	62. 7	41.8	3. 2	3. 2	8. 2	8. 9	14. 6	5. 1	11. 4	1.3
生活保護世帯	44	70. 5	20.5	_	2. 3	13. 6	9. 1	15. 9	ı	15. 9	4. 5
就学援助世帯	110	65. 5	44. 5	6. 4	0.9	8. 2	20. 9	24. 5	1.8	4. 5	2. 7
児童養護施設等	23	65. 2	52. 2	13.0	4. 3	4. 3	43. 5	13.0	_	_	4. 3

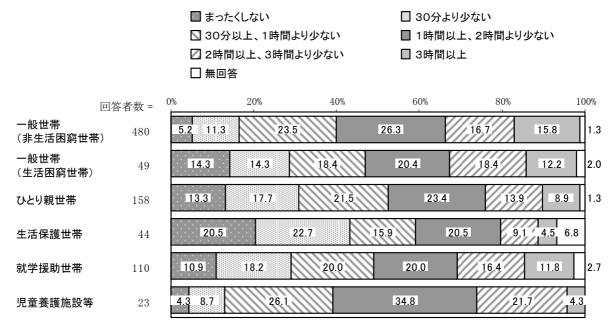
※児童養護施設等の子どものうち、児童養護施設及びファミリーホームの子どもの質問文は、「家の人に教えてもらう」を「施設の先生に教えてもらう」としています。

#### (子ども票 問4 学習習慣)

#### a) 学校がある日 (月~金曜日)

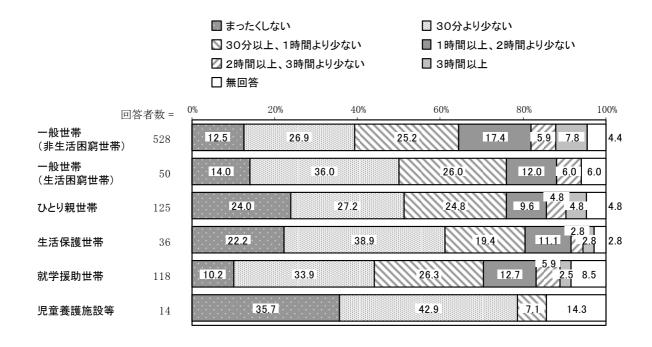
#### <小学生>

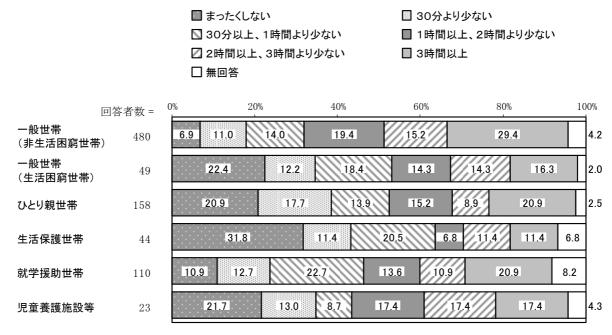




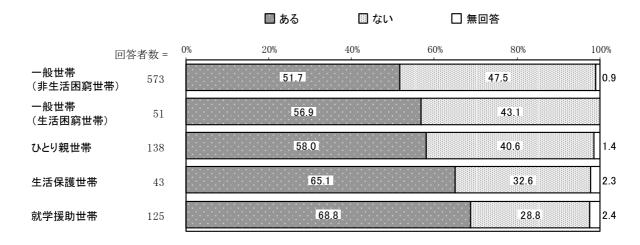
#### b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)

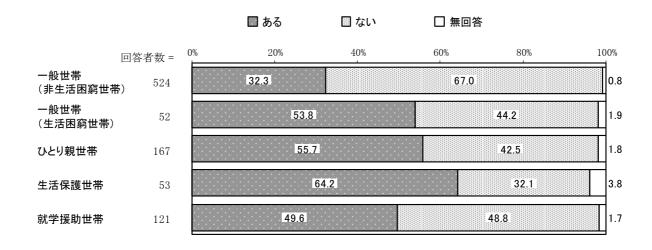
#### <小学生>





## (保護者票 問 16 塾や習い事で通わせたいのに通わせていないものがあるか) <小学生>





## (保護者票 問17 塾等に通わせられない理由)

## <小学生>

単位:%

区分	回答者数(件)	送迎が困難	月謝や授業料が高い	いないお子さんが希望して	自宅の近くにない	その他	無回答
一般世帯(非生活困窮世帯)	296	32. 4	51. 7	47. 0	15. 9	9. 5	2.0
一般世帯(生活困窮世帯)	29	37. 9	75. 9	34. 5	20. 7	3. 4	_
ひとり親世帯	80	46. 3	76. 3	26. 3	21. 3	5. 0	2. 5
生活保護世帯	28	42. 9	71. 4	28. 6	28. 6	10. 7	_
就学援助世帯	86	37. 2	79. 1	37. 2	11. 6	10. 5	_

#### <中学生>

単位:%

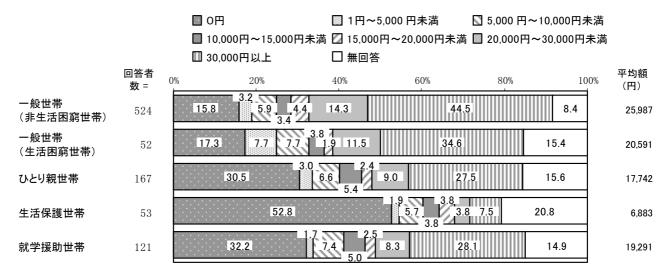
区分	回答者数(件)	送迎が困難	月謝や授業料が高い	いないお子さんが希望して	自宅の近くにない	その他	無回答
一般世帯(非生活困窮世帯)	169	20. 7	63. 9	35. 5	14.8	10. 7	3.6
一般世帯(生活困窮世帯)	28	7. 1	89. 3	35. 7	7. 1	7. 1	3.6
ひとり親世帯	93	26. 9	84. 9	31. 2	14. 0	3. 2	_
生活保護世帯	34	35. 3	85. 3	23. 5	20.6	5. 9	5. 9
就学援助世帯	60	13. 3	78. 3	30.0	10.0	3. 3	5. 0

#### (保護者票 問18 塾代等の費用)

#### 塾・通信教育等

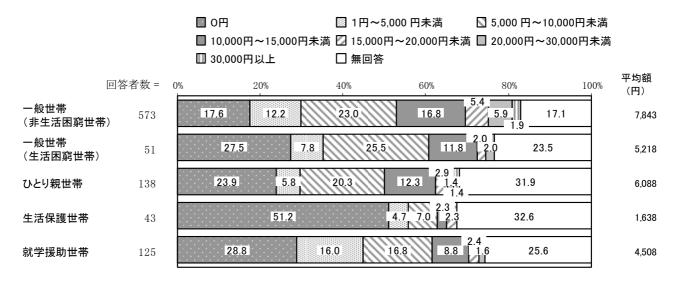
#### <小学生>

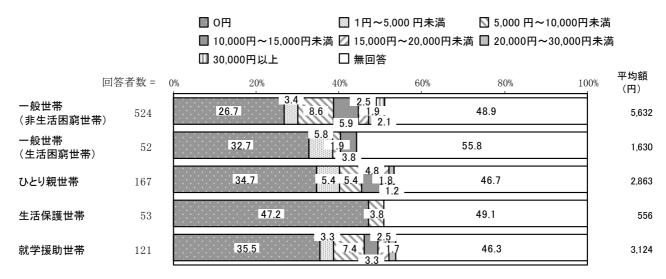
		■ 0円 ■ 10,000円~15,00 ■ 30,000円以上		円~20,000円未満 [	☑ 5,000 円~10,000円∌ ☑ 20,000円~30,000円		
回答	答者数 =	0% 20%	40%	60%	80%	100%	平均額 (円)
一般世帯 (非生活困窮世帯)	573	21.6	4.5 18.3	11.5 6.1 8.7	12.2 16.9		14,362
一般世帯 (生活困窮世帯)	51	23.5	3.9 25.5	5.9 5.9 3.9	  2.0		6,574
ひとり親世帯	138	20.3	3 19,6		5.8 26.8		10,473
生活保護世帯	43		48.8	18.6	3. 2.3 27.9		3,081
就学援助世帯	125	28.0	4.0 20.0	4.8 7.2 3.2	7.2 25.6		9,636



#### 習い事 (ピアノ・習字・水泳など)

#### <小学生>



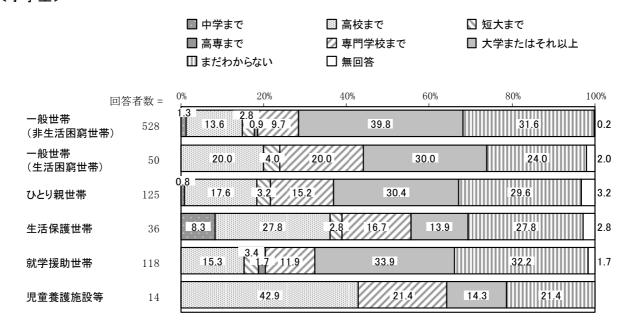


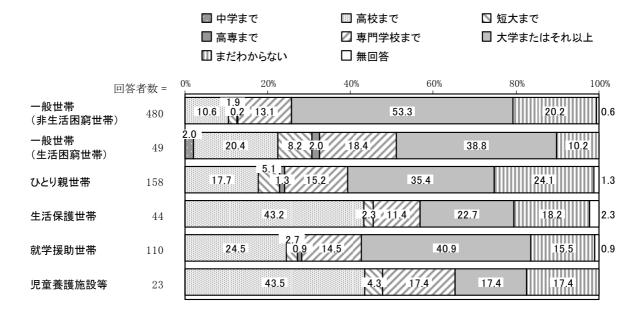
#### (3) 進路、将来展望

- 〇進学希望について、小学生では、他に比べ、児童養護施設等で「高校まで」の割合が高くなっています。中学生では、他に比べ、生活保護世帯、児童養護施設等で「高校まで」の割合が、一般世帯(非生活困窮世帯)で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。
- 〇進学希望の理由について、小学生、中学生ともに、他に比べ、生活保護世帯で「希望する学校や 職業があるから」の割合が低くなっています。
- 〇進学の見通しについて、小学生では、他に比べ、一般世帯(生活困窮世帯)、生活保護世帯で「高校まで」の割合が高くなっています。中学生では、他に比べ、児童養護施設等で「高校まで」の割合が高くなっています。
- ○進学の見通しと希望について、「大学またはそれ以上」と回答した割合の比較では、世帯類型に かかわらず希望よりも見通しが低くなっており、特に、小学生では、一般世帯(生活困窮世帯) で、中学生では、生活保護世帯で、希望より見通しが低くなる割合が高くなっています。
- 〇どの段階まで進学させたいか(進学の希望)について、小学生保護者、中学生保護者ともに、生活保護世帯で「高校まで」の割合が、一般世帯(非生活困窮世帯)で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。
- 〇進学の見通しについて、小学生保護者、中学生保護者ともに、生活保護世帯で「高校まで」の割合が、一般世帯(非生活困窮世帯)で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。
- ○進学の見通しの理由について、小学生保護者では、他に比べ、生活保護世帯で「家庭の経済的な 状況から考えて」の割合が高くなっています。中学生では、他に比べ、生活保護世帯で「家庭の 経済的な状況から考えて」の割合が、就学援助世帯で「お子さんの学力から考えて」の割合が高 くなっています。
- 〇進学の希望と見通しについて、「大学またはそれ以上」と回答した割合の比較では、世帯類型に かかわらず希望よりも見通しが低くなっており、特に、小学生保護者、中学生保護者ともに、生 活保護世帯で、希望より見通しが低くなる割合が高くなっています。
- 〇将来の夢や目標を持っていることについて、小学生では、他に比べ、生活保護世帯で「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合が低くなっています。

#### (子ども票 問8 進学希望)

#### <小学生>





## (子ども票 問9 進学希望の理由)

## <小学生>

単位:%

区分	回答者数(件)	あるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	そうしているからまわりの先輩や友達が	から家にお金がないと思う	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
一般世帯 (非生活困窮世帯)	360	52. 2	21. 4	13. 3	3. 1	2. 2	1. 7	3. 3	5.8	20.8	1. 9
一般世帯 (生活困窮世帯)	37	48. 6	10.8	18. 9	10.8		2. 7	8. 1	2. 7	8. 1	2. 7
ひとり親世帯	84	52. 4	19. 0	9. 5	1.2	2. 4		2. 4	3. 6	22. 6	3. 6
生活保護世帯	25	36.0	16.0	12.0		4.0	12.0	8.0	8.0	32. 0	
就学援助世帯	78	52.6	25. 6	11.5	2.6	2.6	6. 4	9.0	3.8	16. 7	2.6
児童養護施設等	11	54. 5	18. 2	_		18. 2	ı	9. 1	1	18. 2	_

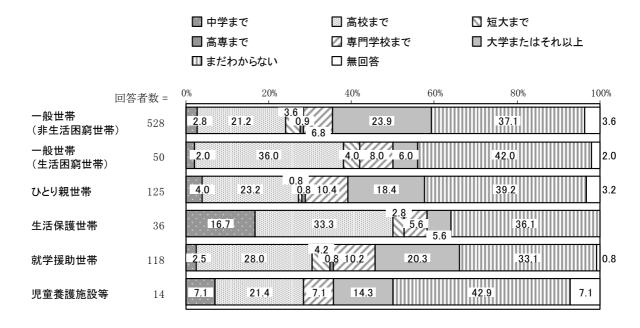
## <中学生>

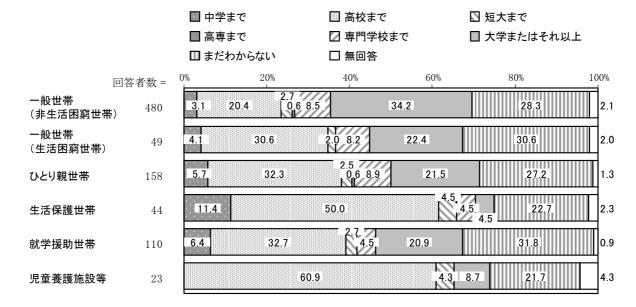
単位:%

区分	回答者数(件)	あるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	そうしているからまわりの先輩や友達が	から家にお金がないと思う	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
一般世帯 (非生活困窮世帯)	380	50. 5	17. 1	11.8	7. 4	7. 6	0.5	3. 7	4. 5	18. 7	3. 2
一般世帯 (生活困窮世帯)	44	54. 5	20. 5	6.8	6.8	4. 5	15. 9	6.8	4. 5	20. 5	_
ひとり親世帯	118	47. 5	15. 3	13. 6	5. 9	6.8	9. 3	4. 2	6.8	24. 6	2. 5
生活保護世帯	35	28. 6	25. 7	8.6	11. 4	5. 7	2. 9	8.6	8.6	11. 4	2.9
就学援助世帯	92	57. 6	18.5	20.7	6.5	6. 5	14. 1	6.5	4. 3	9.8	2. 2
児童養護施設等	19	47. 4	15.8		5. 3	_		10.5	15.8	21. 1	5. 3

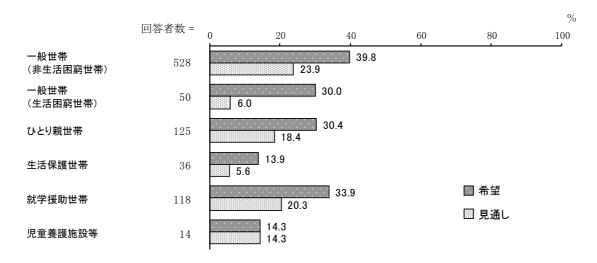
#### (子ども票 問10 進学の見通し)

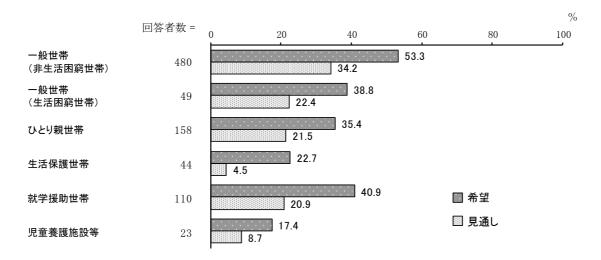
#### <小学生>





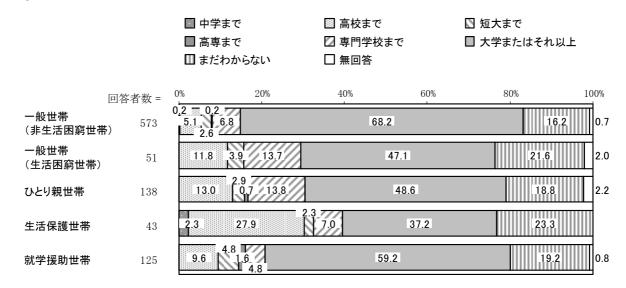
## (子ども票 問9、問10 進学の見通しと希望の比較(「大学またはそれ以上」と回答した割合) <小学生>

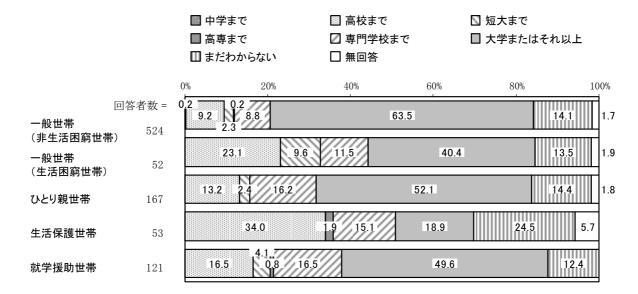




#### (保護者票 問19 どの段階まで進学させたいか(進学の希望))

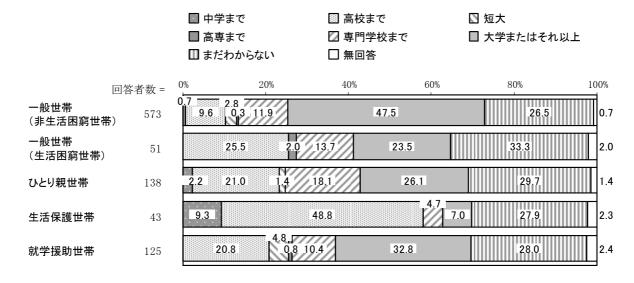
#### <小学生>

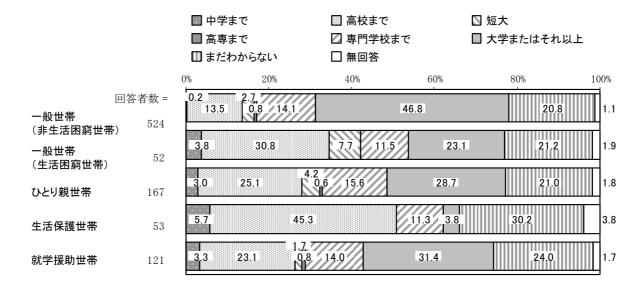




#### (保護者票 問20 進学の見通し)

#### <小学生>





## (保護者票 問21 進学の見通しの理由)

## <小学生>

単位:%

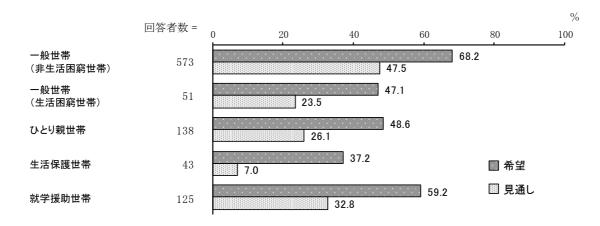
区分	回答者数(件)	しているからお子さんがそう希望	思うから一般的な進路だと	考えてお子さんの学力から	から考えて家庭の経済的な状況	その他	特に理由はない	無回答
一般世帯 (非生活困窮世帯)	417	36. 0	42. 2	36. 0	11. 0	5. 5	5. 5	0. 2
一般世帯 (生活困窮世帯)	33	21. 2	27. 3	21. 2	30. 3	3. 0	3. 0	3. 0
ひとり親世帯	95	35. 8	30. 5	38. 9	25. 3	5. 3	1. 1	1. 1
生活保護世帯	30	13. 3	20.0	33. 3	43. 3	_	10.0	_
就学援助世帯	87	28. 7	39. 1	31.0	21.8	2. 3	4. 6	2. 3

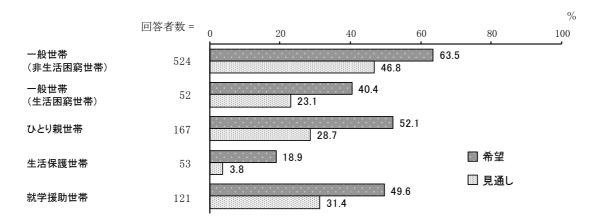
## <中学生>

単位:%

区分	回答者数(件)	しているから	思うから一般的な進路だと	考えて	から考えて家庭の経済的な状況	その他	特に理由はない	無回答
一般世帯 (非生活困窮世帯)	409	48. 7	26. 2	36. 4	9. 3	5. 1	6. 1	0. 7
一般世帯 (生活困窮世帯)	40	40. 0	10.0	37. 5	32. 5	2.5	2. 5	_
ひとり親世帯	129	41. 9	20. 2	24.8	27. 1	7. 0	4. 7	1.6
生活保護世帯	35	25. 7	22. 9	37. 1	45. 7	5. 7	8.6	2. 9
就学援助世帯	90	40.0	30.0	47.8	15. 6	4. 4	2. 2	2. 2

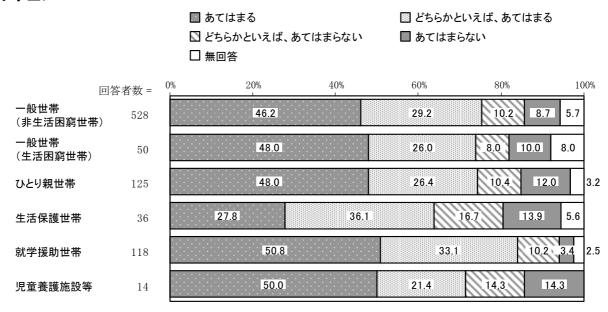
## (保護者票 問 19、問 20 進学の見通しと希望の比較(「大学またはそれ以上」と回答した割合) <小学生>

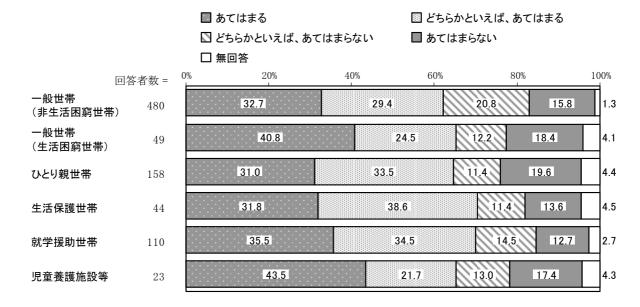




#### (子ども票 問19 将来の夢や目標を持っている)

#### <小学生>





## 2 子どもの生活状況

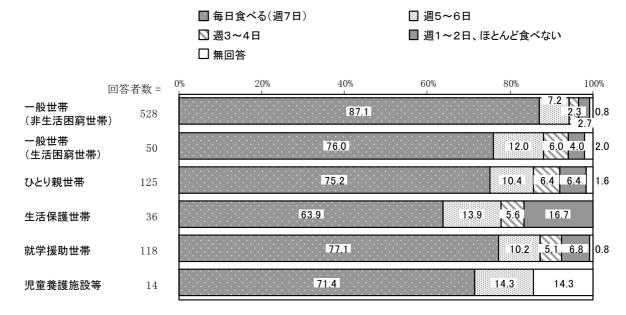
#### (1) 生活習慣

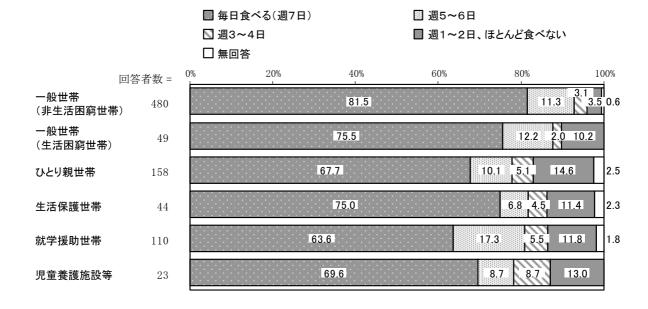
- 〇食事の頻度について、他に比べ、朝食で「毎日食べる(週7日)」の割合が低く、小学生では『生活保護世帯』、中学生では『ひとり親世帯』『就学援助世帯』で低くなっています。
- 〇就寝時間の規則性「ふだん(平日)ほぼ同じ時間に寝ていますか。」について、小学生では、他に比べ、生活保護世帯で「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合が低くなっています。中学生では、児童養護施設等で「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合が低くなっています。

(子ども票 問14 食事の頻度)

#### a) 朝食

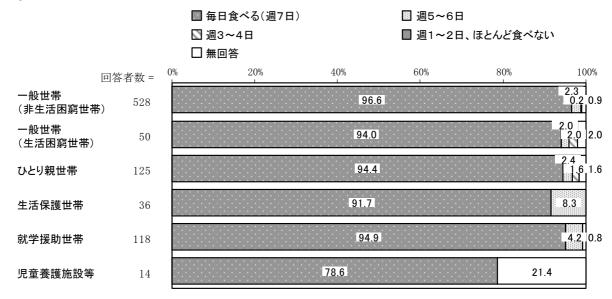
#### <小学生>

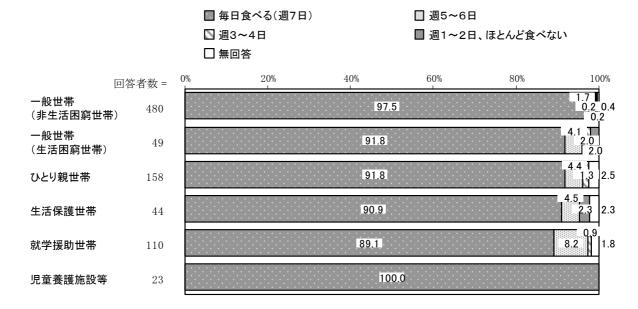




#### b) 夕食

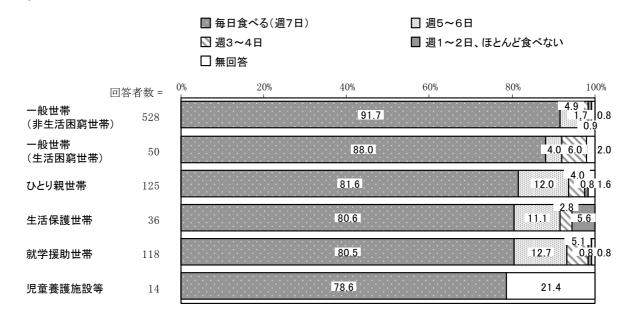
#### <小学生>

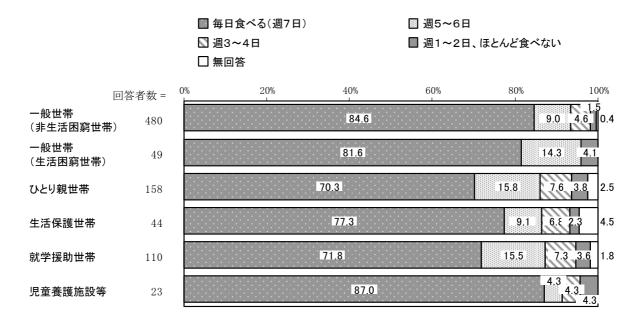




#### c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

#### <小学生>

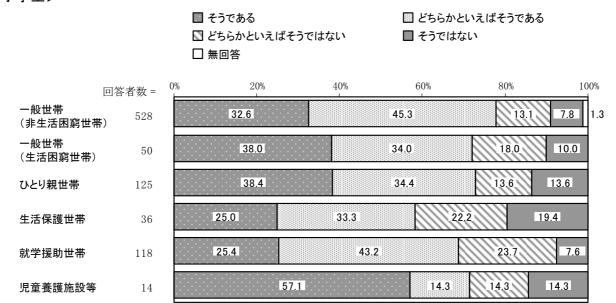


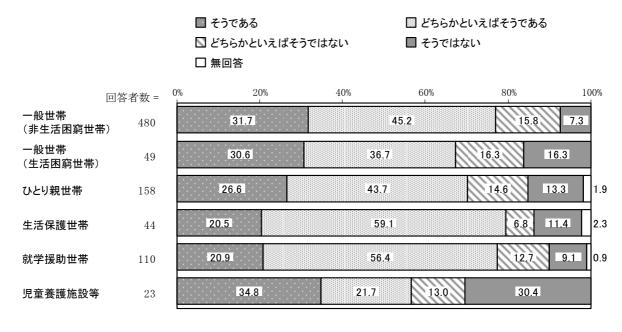


#### (子ども票 問15 就寝時間の規則性)

あなたは、ふだん(月曜日~金曜日)、ほぼ同じ時間にねていますか。

#### <小学生>





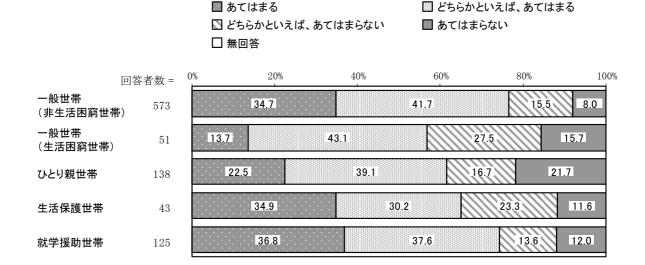
## (2) 保護者の子との関係

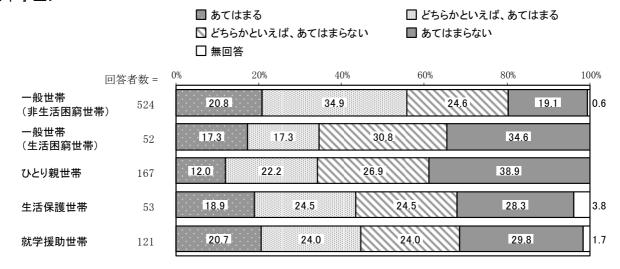
- 〇保護者の関わり方について、小学生保護者では、他に比べ、一般世帯(生活困窮世帯)、ひとり 親世帯で『テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている』割合が低く、一般世帯(生活困窮世帯)、ひとり親世帯、生活保護世帯で『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』割合が低くなっています。中学生保護者では、他に比べ、一般世帯(生活困窮世帯)、ひとり親世帯で『テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている』割合が低く、生活保護世帯で『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』の割合が低くなっています。
- 〇学校行事への参加について、小学生保護者、中学生保護者ともに、他に比べ、生活保護世帯で 『授業参観や運動会などの学校行事へよく参加している』割合が低く、ひとり親世帯、生活保護 世帯で『PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへよく参加している』割 合が低くなっています。

(保護者票 問14 保護者の関わり方)

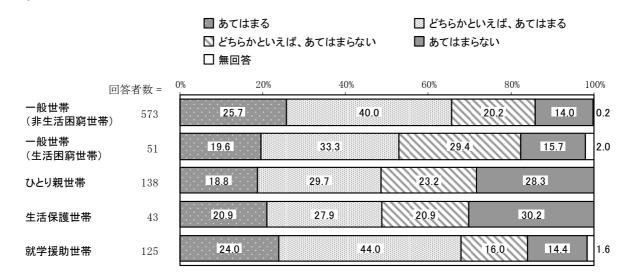
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

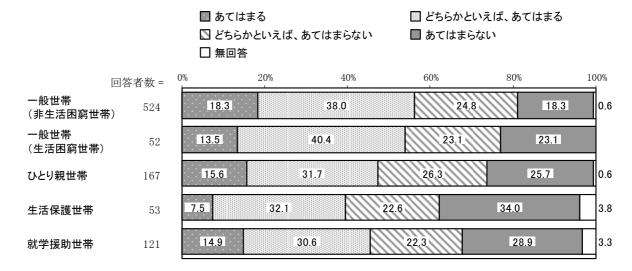
#### <小学生>





## b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている <小学生>

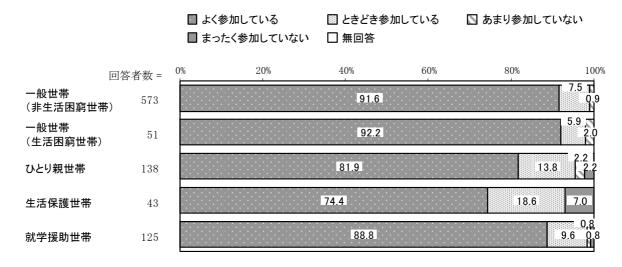


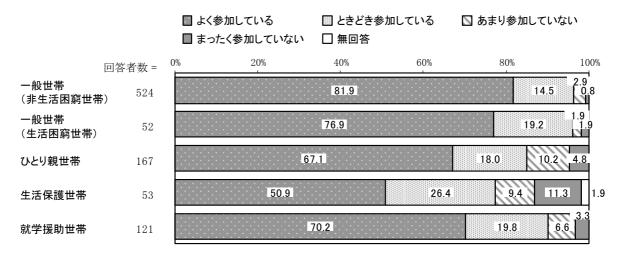


#### (保護者票 問15 学校行事への参加)

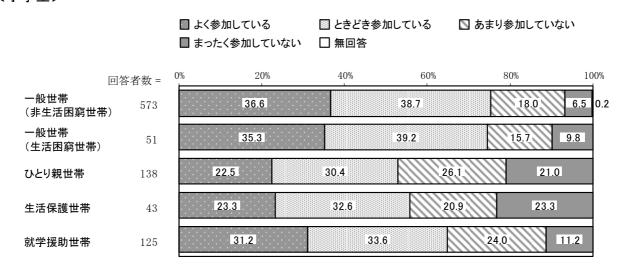
#### a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

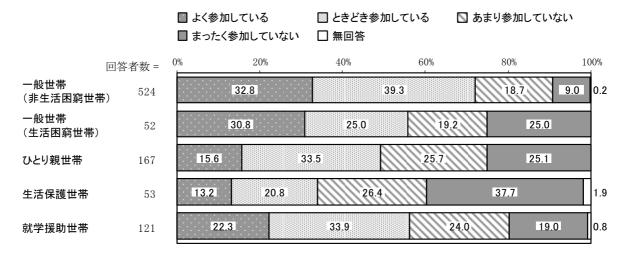
#### <小学生>





## b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加 <小学生>





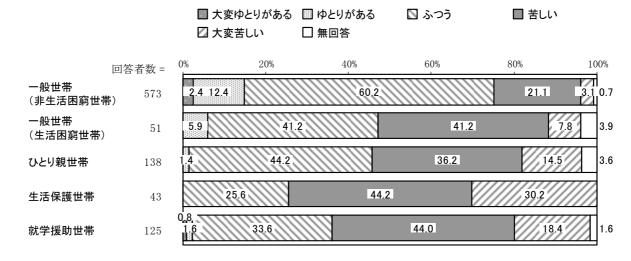
## 3 家庭の状況

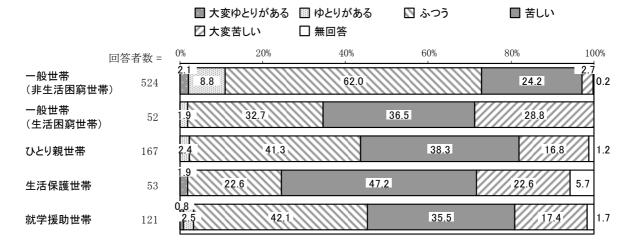
#### (1) 家計の状況

- 〇暮らし向き(主観)について、小学生保護者では、他に比べ、生活保護世帯で「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合が高くなっています。中学生では、他に比べ、一般世帯(生活困窮世帯)、生活保護世帯で「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合が高くなっています。
- 〇世帯収入について、小学生保護者では、他に比べ、一般世帯(生活困窮世帯)で「200~250万円未満」の割合が高くなっています。中学生保護者では、他に比べ、一般世帯(生活困窮世帯)、ひとり親世帯、生活保護世帯で「200~250万円未満」の割合が高くなっています。
- 〇滞納・欠乏経験(食料)、(衣服)について、小学生保護者では、他に比べ、生活保護世帯で「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合が高くなっています。中学生保護者では、他に比べ、一般世帯(生活困窮世帯)、生活保護世帯で「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合が高くなっています。
- 〇滞納・欠乏経験(光熱水費)について、小学生保護者、中学生保護者ともに、他に比べ、生活保 護世帯で全ての料金で未払いになった割合が高くなっています。

(保護者票 問23 暮らし向き(主観))

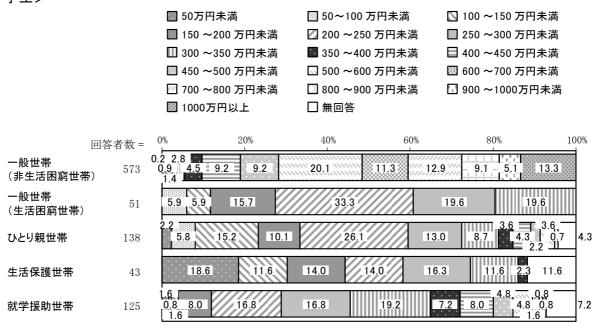
#### <小学生>

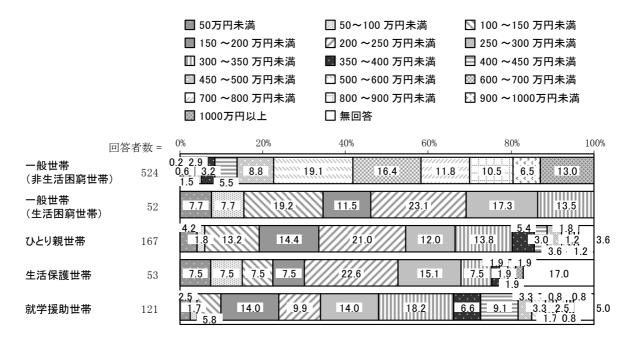




#### (保護者票 問24 世帯収入)

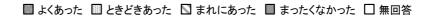
#### <小学生>

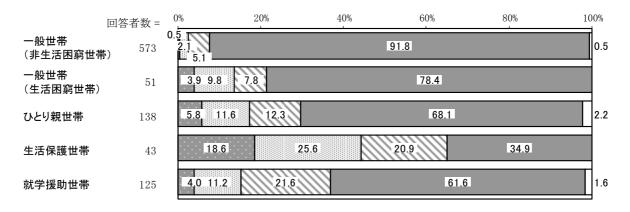


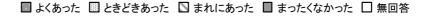


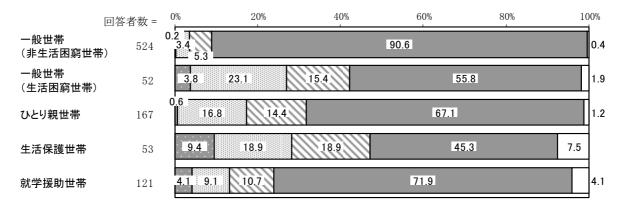
## (保護者票 問25 滞納・欠乏経験(食料))

## <小学生>



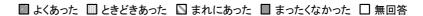


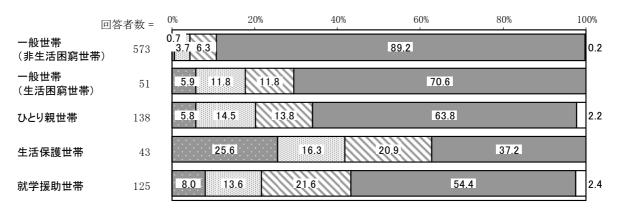




## (保護者票 問26 滞納・欠乏経験(衣服))

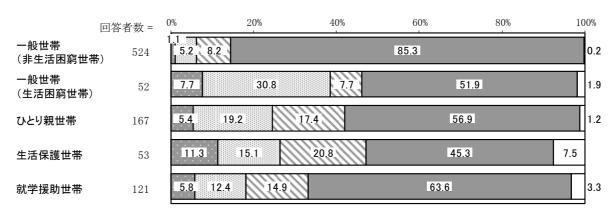
## <小学生>





## <中学生>

## ■ よくあった ■ ときどきあった ■ まれにあった ■ まったくなかった □ 無回答



# (保護者票 問27 滞納・欠乏経験(光熱水費))

# <小学生>

単位:%

区分	回答者数(件)	電気料金	ガス料金	水道料金	無回答
一般世帯(非生活困窮世帯)	573	1. 7	1. 4	1. 4	97. 9
一般世帯(生活困窮世帯)	51	5. 9	2.0	2.0	94. 1
ひとり親世帯	138	8.0	8. 7	10. 1	87. 7
生活保護世帯	43	37. 2	34. 9	30. 2	55.8
就学援助世帯	125	10. 4	10.4	16. 0	80.0

# <中学生>

単位:%

区分	回答者数(件)	電気料金	ガス料金	水道料金	無回答
一般世帯(非生活困窮世帯)	524	2. 1	1. 7	2. 1	96. 8
一般世帯(生活困窮世帯)	52	15. 4	15. 4	13. 5	71. 2
ひとり親世帯	167	9.6	7.8	9.0	85. 6
生活保護世帯	53	20.8	20.8	18. 9	71. 7
就学援助世帯	121	9. 1	9.9	8.3	87. 6

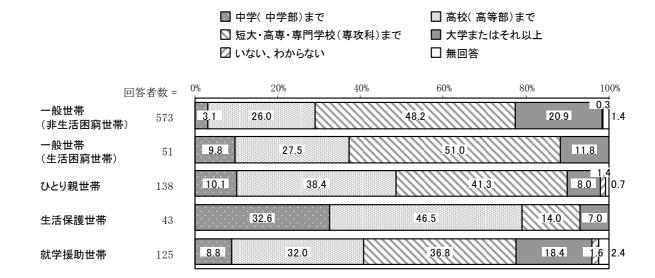
# (2) 保護者の学歴

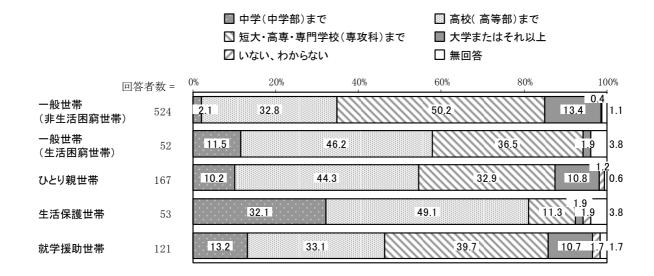
〇親の学歴について、小学生保護者、中学生保護者ともに、他に比べ、生活保護世帯で『母親』『父親』が「中学(中学部)まで」の割合が高くなっています。

(保護者票 問9 親の学歴)

## 母親

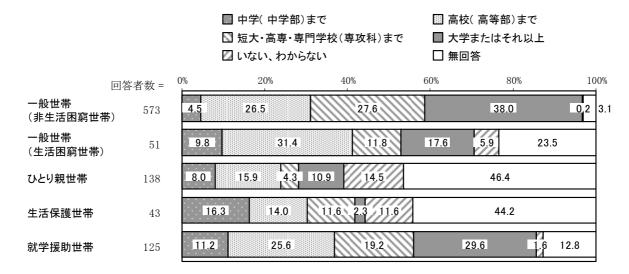
<小学生>

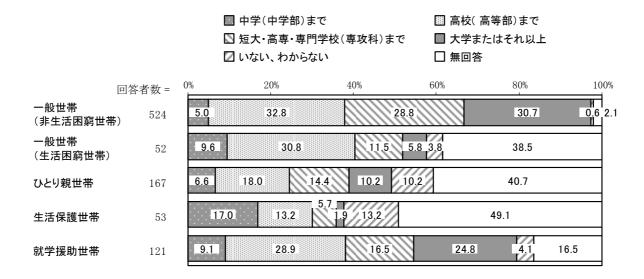




## 父親

# <小学生>





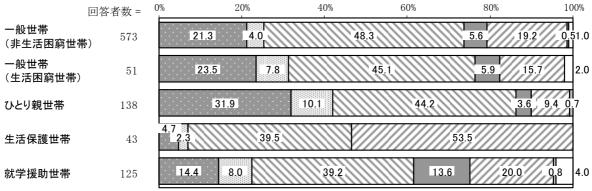
## (3) 保護者の雇用形態

- 〇母親の雇用形態について、小学生保護者、中学生保護者ともに、他に比べ、生活保護世帯で「働いていない」の割合が高くなっています。
- 〇父親の雇用形態について、小学生保護者、中学生保護者ともに、他に比べ、一般世帯(非生活困窮世帯)で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。

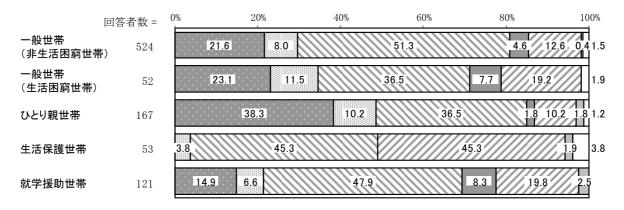
(保護者票 問10 親の雇用形態)

#### 母親

| ○ 正社員・正規職員・会社役員 | □ 嘱託・契約社員・派遣職員 | □ パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 | □ 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む) | □ 働いていない(専業主婦/主夫) | □ いない、わからない | □ 無回答 | □ 管者数 = | ○% | 20% | 40% | 60% | 80% | - 般世帯 | - 段世帯 | 573 | 21.3 | 4.0 | 48.3 | 5.6 | |



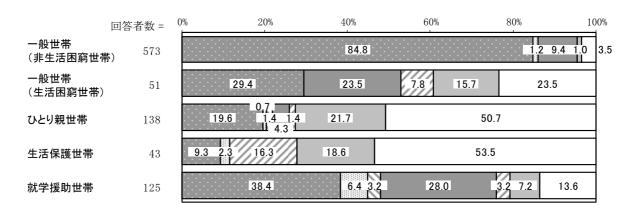
- 正社員・正規職員・会社役員
- 嘱託·契約社員·派遣職員
- □パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)
- ☑ 働いていない(専業主婦/シ主夫を含む)
- □いない、わからない
- □ 無回答



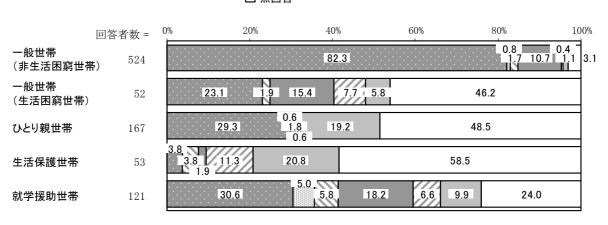
## 父親

## <小学生>

- 正社員・正規職員・会社役員
- 嘱託·契約社員·派遣職員
- □パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)
- ☑ 働いていない(専業主婦/ 主夫)
- □いない、わからない
- □ 無回答



- 正社員・正規職員・会社役員
- 嘱託・契約社員・派遣職員
- パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 自営業(家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む)
- ☑ 働いていない(専業主婦/シ主夫を含む)
- □いない、わからない
- □ 無回答



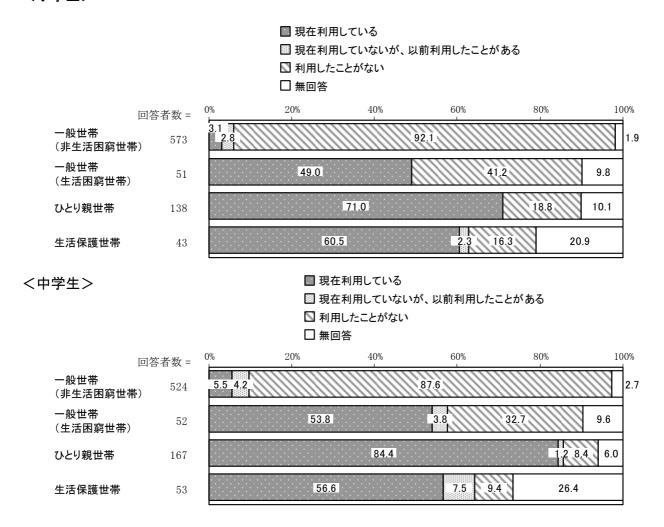
## 4 支援制度

- ○支援の利用状況について、『生活自立仕事相談センター』では、小学生保護者、中学生保護者ともに、他に比べ、生活保護世帯で「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」の割合が高くなっています。また、制度を利用しない理由について、他に比べ、一般世帯(非生活困窮世帯)で「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の割合が高く、ひとり親世帯では「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」の割合が高くなっています。
- ○支援の利用状況について、『母子家庭等就業・自立センター』では、小学生保護者、中学生保護者ともに、他に比べ、ひとり親世帯、生活保護世帯で「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」の割合が高くなっています。また、制度を利用しない理由について、他に比べ、一般世帯(非生活困窮世帯)で「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の割合が高く、ひとり親世帯では「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」の割合が高くなっています。

(保護者票 問29 支援の利用状況)

a 就学援助

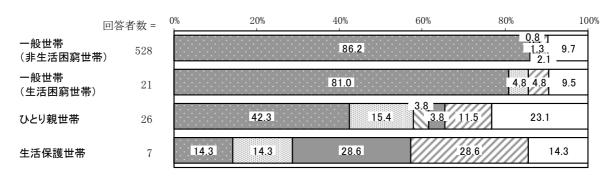
<小学生>



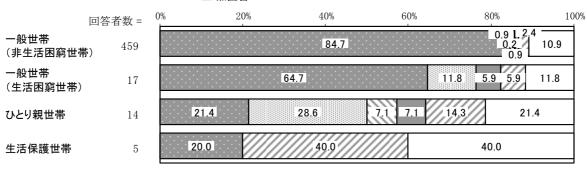
## a-2) 制度を利用しない理由

#### <小学生>

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- ▶ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
- ☑ それ以外の理由
- □ 無回答

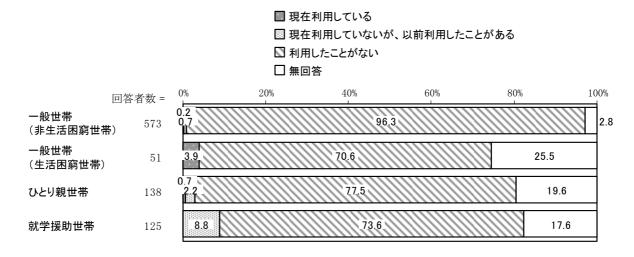


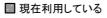
- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- ▶ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
- ☑ それ以外の理由
- □ 無回答



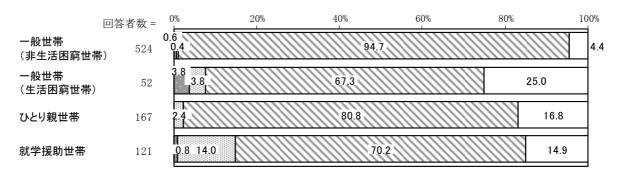
## b 生活保護

## <小学生>





- 現在利用していないが、以前利用したことがある
- ▶ 利用したことがない
- □ 無回答



## b-2) 制度を利用しない理由

#### <小学生>

■ 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから ■ 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから ▶ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから ■ 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから ☑ それ以外の理由 □ 無回答 20% 100% 40% 60% 80% 回答者数 = 0.7 1.1 10.1 2.5 一般世帯 85.5 552(非生活困窮世帯) 5.6 8.3 一般世帯 83.3 2.8 36 (生活困窮世帯) 6.5 0.9 9.3 1.9 6.5 61.7 19.6 ひとり親世帯 107

68.5

## <中学生>

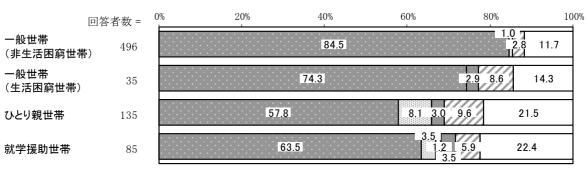
就学援助世帯

92

■ 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから圏 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから

15.2

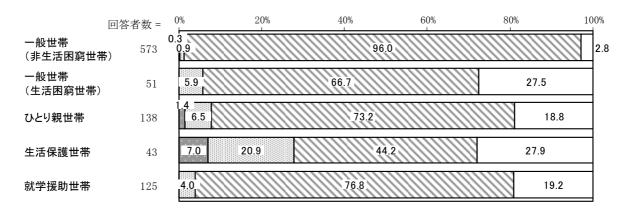
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
- ☑ それ以外の理由
- □ 無回答



# c 生活自立・仕事相談センター

## <小学生>

- 現在利用している
- 現在利用していないが、以前利用したことがある
- 利用したことがない
- □ 無回答



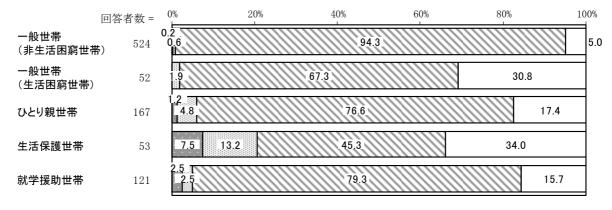
## <中学生>

■ 現在利用している

■ 現在利用していないが、以前利用したことがある

■ 利用したことがない

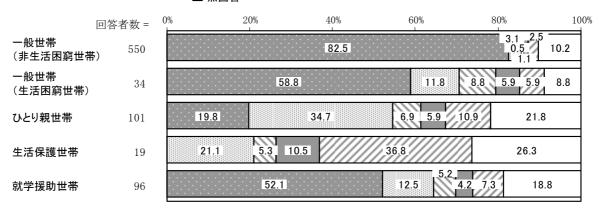
□ 無回答



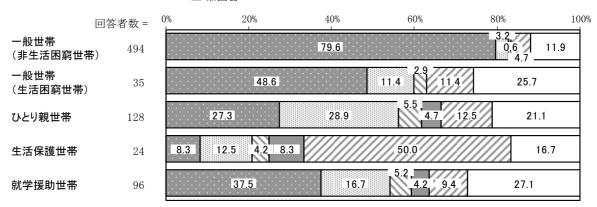
## c-2) 制度を利用しない理由

#### <小学生>

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- ▶ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
- ☑ それ以外の理由
- □ 無回答



- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
- ☑ それ以外の理由
- □ 無回答



## d 児童扶養手当

## <小学生>

■ 現在利用している
■ 現在利用していないが、以前利用したことがある
■ 利用したことがない
□ 無回答

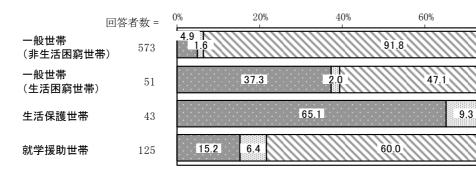
80%

100%

13.7

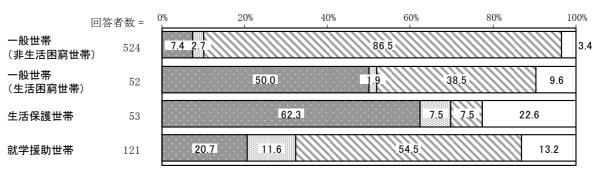
18.4

9.3



## <中学生>

■ 現在利用している園 現在利用していないが、以前利用したことがある■ 利用したことがない□ 無回答

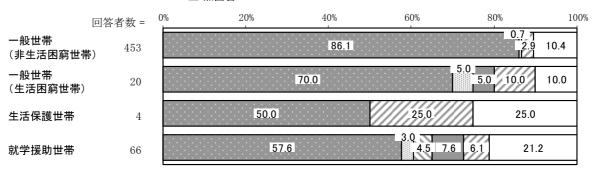


## d-2) 制度を利用しない理由

#### <小学生>

■ 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから ■ 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから ▶ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから ■ 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから ☑ それ以外の理由 □ 無回答 100% 20% 40% 60% 80% 回答者数 = 0.6 .1.9 0.4 9.5 一般世帯 86.7 526 (非生活困窮世帯) 一般世帯 87.5 8.3 4.2 24 (生活困窮世帯) 42.9 生活保護世帯 7 2.7 2.7 8.0 76.0 就学援助世帯 75 10.7

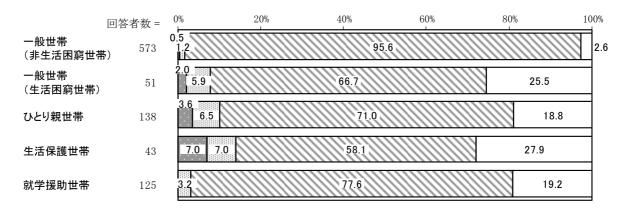
- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
- ☑ それ以外の理由
- □ 無回答



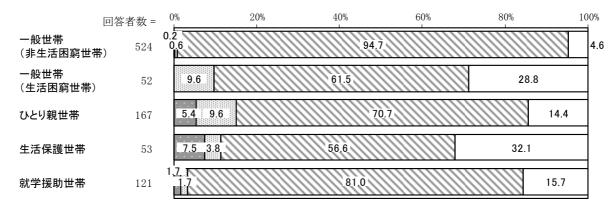
# e 母子家庭等就業・自立支援センター

## <小学生>

- 現在利用している
- 現在利用していないが、以前利用したことがある
- 利用したことがない
- □ 無回答



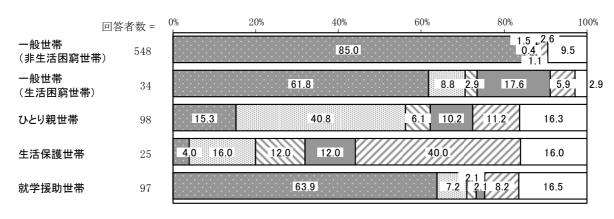
- 現在利用している
- 現在利用していないが、以前利用したことがある
- 利用したことがない
- □ 無回答



## d-2) 制度を利用しない理由

#### <小学生>

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- ▶ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
- ☑ それ以外の理由
- □ 無回答



- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
- ☑ それ以外の理由
- □ 無回答

